



映画

若者たち

三部作

—— 佐藤家五人きょうだいの青春、格闘の日々

2023 3.12 [sun] —— 4.1 [sat]

MORNING SHOW 10:30 START  LAPUTA ASAGAYA

世代を超えて語り継がれる、社会派青春映画の金字塔

若者たち (1967) / 若者はゆくー続若者たちー (1969) / 若者の旗 (1970)

田中邦衛 橋本功 山本圭 佐藤オリエ 松山省二
監督: 森川時久 脚本: 山内久 撮影監督: 宮島義勇

『若者たち』1967年/森川時久 ©日本映画放送

若者たち

3.12[日]—18[土]

1967年(S42)/劇団俳優座、新星映画社/白黒/96分



©日本映画放送

■監督:森川時久/脚本:山内久/撮影監督:宮島義勇/美術:平川透徹/音楽:佐藤勝 ■出演:田中邦衛、橋本功、山本圭、佐藤オリエ、松山省二、栗原小巻、小川真由美、夏圭子、石立鉄男、江守徹

五人兄弟妹の佐藤家。長男次男が家計を支え、長女が家事をしながら三男を大学に通わせていた。末っ子は浪人中。彼らの間には口喧嘩や取っ組み合いが絶えないが、底では信じあっている。そしてこのひと冬、それぞれが青春の忘れたい体験をもつ。

若者はゆく—続若者たち—

3.19[日]—25[土]

1969年(S44)/俳優座映画放送/白黒/97分



©日本映画放送

■監督:森川時久/脚本:山内久/撮影監督:宮島義勇/美術:山下宏/音楽:佐藤勝 ■出演:田中邦衛、橋本功、山本圭、佐藤オリエ、松山省二、木村夏江、夏圭子、塚本信夫、石立鉄男、江守徹

自主上映でのヒットを受けて製作された『若者たち』の続篇。激動する東京、佐藤家の五人兄弟妹もまた新しい問題にぶつかっていく。長女の職場の労働問題、三男の挫折—。ザ・ブルーベル・シンガーズによる主題歌『昭和ブルース』もヒットした。

若者の旗

3.26[日]—4.1[土]

1970年(S45)/俳優座映画放送/白黒/101分



©日本映画放送

■監督:森川時久/脚本:山内久/撮影監督:宮島義勇/美術:山下宏/音楽:佐藤勝 ■出演:田中邦衛、橋本功、山本圭、佐藤オリエ、松山省二、石立鉄男、井口恭子、山口果林、中谷一郎

『若者たち』三部作の完結篇、舞台は七〇年代に、結婚し独立した次男、昼間は出版社で働き、夜は夜間中学で教鞭をとる三男、自動車セールスマンとなった末弟。ますます激変していく社会のなかで、五人兄弟妹はそれぞれの道を求めようとする。

映画

若者たち

三部作

— 佐藤家五人きょうだいの青春、格闘の日々

2023 3.12[sun] — 4.1[sat]
MORNING SHOW 10:30 START

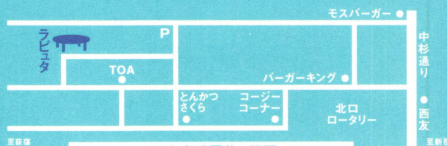
1966年にフジテレビで放送された連続ドラマ『若者たち』は、戦後の傷跡、貧困、学歴差別、学園紛争……など当時の世相、問題を鮮烈に描き反響を呼ぶものの、その社会批判性の強さにより、突然打ち切りに。しかし、放送終了後も圧倒的なファンの支持を得て、テレビ版と同じスタッフ、キャストで映画化。自主上映ながら、その感動と共感の輪はまたたく間に全国に広がり、1年間で300万人の動員を記録しました。

早くに両親を亡くした五人の兄弟妹—土建会社の設計技師、弟妹たちの親がわりとなって戦後の混乱をのりこえてきた長男・田中邦衛、遠距離輸送のトラック運転手で竹を割ったような性格の次男・橋本功、行動的なインテリの三男・山本圭、一家の台所を切り盛りする紅一点・佐藤オリエ、ドライで自己中心的な現代っ子だが、根はやさしい末男・松山省二—が互いに助けあい、時に猛烈に争い、ひたむきに日常を生きていく—。

もがき苦しむ若者たちの姿がザ・ブロードサイド・フォーの主題歌とともに胸に迫ります。

【当日】 一般…1,300円 シニア・学生…1,100円
会員…900円 水曜サービスデー…1,100円均一

●午前10時より当日の全回分の整理番号付き入場券を発売します。定員48名になり次第、締め切らせていただきます。●混雑状況により、販売開始時刻を早める場合がございます。●上映開始後10分を過ぎてのご入場はお断りさせていただきます。●作品により画像、音声が必要です。●作品により画像、音声が必要です。あらかじめご了承下さい。



ラピュタ阿佐ヶ谷 杉並区阿佐ヶ谷北2-12-21
(阿佐ヶ谷駅北口 徒歩2分)



TEL 03-3336-5440
http://www.laputa-jp.com/